

第3章

現在の母親の 生活と活動



現在の活動

友人との交流・しつけ・健康管理が上位3位

子育てで忙しい母親たちではあるが、その一方で自分自身のための時間を作り出し、新しい出会いや友人との集まりには積極的である。そこで、「現在の生活の中で、どのようなことに力を入れているのか」をたずねた。

分野は、「家族・家庭」「趣味・サークル」「地域活動・社会奉仕」「自分の仕事」の四つである。その結果は図3-1のように、各分野で多様な広がりを見せていた。各上位3位は、「家族・家庭」では、①しつけ②健康管理③育児。「趣味・サークル」では、①友人とのつきあい・交流②趣味③スポーツとなった。また、「地域活動・社会奉仕」では、①PTA・父母会②生協・共同購入など③町内活動の順で、「自分の仕事」では、①仕事での成果・実績②求職③技術向上や資格取得であった(図3-1)。

子育てが中心になる主婦の友人つきあい

園児と小学校低学年児をもつ母親にとつては、生活時間が子ども中心に動いている。

Q14の設問で、「子どもの帰宅時間には、だれかが家にいるようにしている」と回答した人が全体で58.6%おり、その内訳は、専業主婦65.4%、パートタイマー54.8%、常勤者34.4%であった。

つまり、約6割の母親が子どもの帰宅時間にはだれかが家で待つように心がけており、パートタイムで働く母親も子どもの帰宅時間には間に合う範囲でと考えている場合もある。

専業主婦の活動内容は、①友人とのつきあい・交流②しつけ③育児で、⑦PTA・父母会⑧生協・共同購入など、家の近くで友人たちとの交流ができることに集中していた。

常勤者の活動の第1位は「仕事の成果」

フルタイムで働く母親が現在、力を入れている活動の第1位は、「仕事での成果・実績」58.4%であった。専業主婦やパートタイムの母親たちの第1位「友人とのつきあい・交流」が、常勤者では第4位になっており、子どもをもって働く常勤者は、時間も意識も、まず仕事優先の生活であることを示していた。

常勤者の上位3位は、①仕事での成果・実績②健康管理③しつけであった。また、⑨職場の人間関係と⑩旅行は、専業主婦やパートタイムの母親の上位10位にはない項目であった。

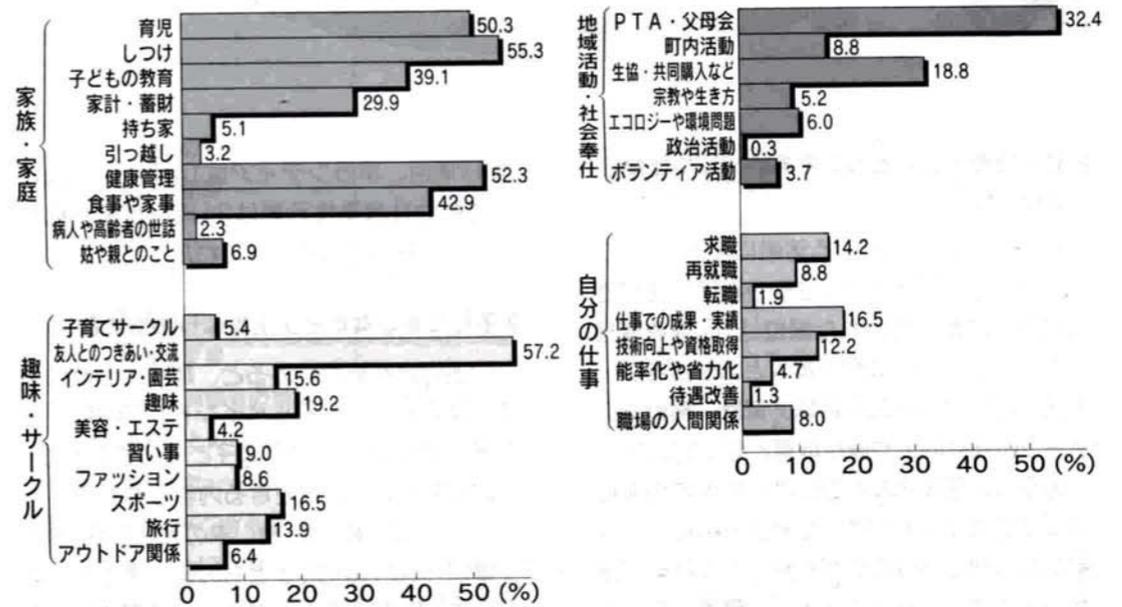
とくに年少児を抱える母親に「職場の人間関係」が多かった。常勤者は、日中を仕事場で過ごすため、地域活動に力をそそぐことはむずかしいが、時間を見つけて、子どもの「PTA・父母会」には参加している様子が、専業主婦30.9%、常勤者24.9%の数値からもうかがえた。

パートタイマーは多彩な活動内容

図3-2でも明らかのように、パートタイマーは、常勤者と専業主婦が目立つ項目では両方に追従した数値を示していた。しかし一方では、パートタイマーが最も高い数値を示す項目としては、「子どもの教育」「PTA・父母会」「家計や蓄財」があり、家庭や子どものことを行った上で経済面も両立させたいという意欲が、まさに、パートタイマーの立場を選んでいる状況を物語っていた。

ちなみに、パートタイマーの年収は50万円未満が41.6%で最も多く、50~100万円未満が35.5%、100~200万円未満が13.0%であった。そして、彼女たちが趣味やスポーツなどに多彩な活躍をしていることがわかった。

●図3-1 現在力を入れている活動



●図3-2 現在、力を入れている活動×母親の就業状況

